

---

## 1 (月)

イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」

マルコ1:17

---

## 2 (火)

すると、シモンが答えた。「先生。私たちは夜通し働きましたが、何一つ捕れませんでした。でも、おことばですので、網を下ろしてみましょう。」

ルカ5:5

---

## 3 (水)

そして、そのとおりにすると、おびたしい数の魚が入り、網が破れそうになった。

ルカ5:6

---

## 4 (木)

これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して言った。「主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。」

ルカ5:8

---

---

## 5 (金)

シモンの仲間<sup>なかま</sup>の、ゼバダイの子ヤコブやヨハネも同じであった。イエスはシモン<sup>い</sup>に言われた。「恐れることはない。今<sup>いま</sup>から後<sup>のち</sup>、あなたは人間<sup>にんげん</sup>を捕るようになるのです。」彼らは舟<sup>かれ</sup>を陸<sup>ふね</sup>に着<sup>りく</sup>けると、すべて<sup>つ</sup>を捨<sup>す</sup>ててイエス<sup>したが</sup>に従った。

ルカ5:10-11

---

## 6 (土)

わたしに仕<sup>つか</sup>えるというのなら、その人<sup>ひと</sup>はわたしについて来<sup>き</sup>なさい。わたしがいるところに、わたしに仕<sup>つか</sup>える者<sup>もの</sup>もいることになります。わたしに仕<sup>つか</sup>えるなら、父<sup>ちち</sup>はその人<sup>ひと</sup>を重<sup>おも</sup>んじてくださいます。」

ヨハネ12:26

---

---

## 7 (日)

すると、ペテロが言った。「ご覧ください。私たちは自分のものを捨てて、あなたに従って来ました。」イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。だれでも、神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子どもを捨てた者は、必ずこの世で、その何倍も受け、来たるべき世で、永遠のいのちを受けます。」

ルカ18:28-30

---

## 8 (月)

しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことはありません。

ヨハネ4:14前半

---

## 9 (火)

わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

ヨハネ4:14後半

---

## 10(水)

永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。

ヨハネ17:3

---

## 11 (木)

おんな  
女はイエスに言った。「わたしは、キリストと呼ばれるメシアが来られることを知  
っています。その方が来られるとき、一切のことを私たちに知らせてくださ  
りましょう。」イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれ  
です。」

ヨハネ4:25-26

---

## 12 (金)

かのじょ  
彼女は、自分の水がめを置いたまま町へ行き、人々に言った。「来て、見て  
ください。私が出したことを、すべて私に話した人がいます。もしかすると、この  
方がキリストなのではないでしょうか。」

ヨハネ4:28-29

---

## 13 (土)

まつ  
さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立ち上がり、大きな声で言わ  
れた。「だれでも渇いているなら、わたしのもつて来て飲みなさい。わたしを  
しん  
信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水  
かわ  
の川が流れ出るようになります。」

ヨハネ7:37-38

---

---

## 14 (日)

みたま はなよめ い 御霊と花嫁が言う。「来て<sup>き</sup>ください。」これを聞<sup>き</sup>く者も「来<sup>き</sup>てください」と言  
いなさい。渴<sup>かわ</sup>く者<sup>もの</sup>は来<sup>き</sup>なさい。いのちの水<sup>みず</sup>が欲<sup>ほ</sup>しい者<sup>もの</sup>は、た<sup>う</sup>だ<sup>う</sup>で受けな  
さい。

黙示録22:17

---

## 15 (月)

イエスは彼<sup>かれ</sup>に言<sup>い</sup>われた。「起<sup>お</sup>きて床<sup>とこ</sup>を取<sup>と</sup>り上<sup>あ</sup>げ、歩<sup>ある</sup>きなさい。」

ヨハネ5:8

---

## 16 (火)

イエスは彼<sup>かれ</sup>が横<sup>よこ</sup>になっているのを見<sup>み</sup>て、す<sup>な</sup>が<sup>あ</sup>い<sup>だ</sup>に長<sup>なが</sup>い間<sup>あいだ</sup> ぞうしていること<sup>し</sup>を知  
ると、彼<sup>かれ</sup>に言<sup>い</sup>われた。「良<sup>よ</sup>くなり<sup>たい</sup>か。」

ヨハネ5:6

---

## 17 (水)

すると、す<sup>ひ</sup>ぐ<sup>な</sup>お<sup>お</sup>にその人<sup>ひと</sup>は治<sup>ゆか</sup>って、床<sup>と</sup>を取<sup>あ</sup>り上<sup>ある</sup>げて歩<sup>だ</sup>き出<sup>ひ</sup>した。と<sup>ひ</sup>ころが、その日<sup>ひ</sup>  
は安<sup>あん</sup>そ<sup>く</sup>に<sup>ち</sup>であ<sup>った</sup>った。

ヨハネ5:9

---

## 18 (木)

なに おも わずら ばあい かんしゃ いの ねが  
何も思い煩わな<sup>い</sup>で、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いに

よって、あなたがたの願<sup>い</sup>事を神に知<sup>ら</sup>せていただきなさい。

ピリピ4:6

---

## 19 (金)

すべて疲れた人、重荷を負<sup>っ</sup>ている人はわたしのも<sup>と</sup>に来なさい。わたしが

あなたがたを休<sup>ま</sup>せてあげます。

マタイ11:28

---

## 20 (土)

信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。

この方は、ご自分の前に置かれた喜<sup>び</sup>のために、辱<sup>め</sup>をもものともせず

十字架を忍<sup>び</sup>、神の御座の右に着座されたのです。

ヘブル12:2

---

---

## 21 (日)

ですから<sup>わたし</sup>私たちは、あわれみを受け、また<sup>う</sup>恵みを<sup>めぐ</sup>いただいて、折に<sup>おり</sup>かなった

助け<sup>たす</sup>を受けるために、大胆に<sup>う</sup>恵みの<sup>だいたん</sup>御座に<sup>めぐ</sup>近づ<sup>み</sup>こうでは<sup>ざ</sup>ありませんか。

ヘブル4:16

---

## 22 (月)

人の子は<sup>ひと</sup>安息日<sup>こ</sup>の<sup>あんそくにち</sup>主<sup>しゅ</sup>です。

マタイ12:8

---

## 23 (火)

神は<sup>かみ</sup>第七日<sup>だいしちにち</sup>を<sup>しゅくふく</sup>祝福し、この日<sup>ひ</sup>を<sup>せい</sup>聖なるものとされた。その日<sup>ひ</sup>に<sup>かみ</sup>神が、なざっ

ていた<sup>そうぞう</sup>すべての創造の<sup>わ</sup>わざをやめられたからである。

創世記2:3

---

## 24 (水)

安息日<sup>あんそくにち</sup>を<sup>おぼ</sup>覚えて、これを<sup>せい</sup>聖なるものとせよ。六日間<sup>ろくにちかんはたら</sup>働いて、あなたのすべて

の仕事<sup>しごと</sup>をせよ。七日目<sup>なのかめ</sup>は、あなたの<sup>かみ</sup>神、【主】の<sup>しゅ</sup>安息<sup>あんそく</sup>である。あなたはいかな

る仕事<sup>しごと</sup>もしてはならない。あなたも、あなたの<sup>むすこ</sup>息子や<sup>むすめ</sup>娘も、それにあなたの

男<sup>おとこ</sup>奴隷や女<sup>おんな</sup>奴隷、家畜<sup>かちく</sup>、またあなたの<sup>まちがこ</sup>町囲みの<sup>なか</sup>中<sup>きりゆうしや</sup>にいる寄留者も。

出エジプト20:8-10

---

## 25 (木)

イエスは彼らに言われた。「あなたがたのうちのだれかが羊を一匹持って

いて、もしその羊が安息日に穴に落ちたら、それをつかんで引き上げてや

らないでしょうか。人間は羊よりはるかに価値があります。それなら、安息日

に良いことをするのは律法にかなっています。」 マタイ12:11-12

---

## 26 (金)

そして言われた。「安息日は人のために設けられたのです。人が安息日の

ために造られたものではありません。」 マルコ2:27

---

## 27 (土)

幸いなことよ。安息日を守って、これを汚さず、どんな悪事からもその手を

守る人は。このように行う人、このことを堅く保つ人の子は。

イザヤ56:2

---

## 28 (日)

ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。

あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げな

さい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ローマ12:1

---